

<始めに>

ホームページ作成の流を簡単に説明します。ホームページビルダーには多様な操作方法がありますので私の説明がすべてではありません。皆さん方のやりやすい方法で操作される様お願いいたします。又、私の説明の中には本人の知識不足で誤認している部分もあると思いますがお気づきの点はご遠慮なくご指摘ください。

このノートを一通りお読みいただきホームページ作成の全体像をイメージされた後ご自分の[更新]の作業内容・チェックポイントをノートに記録して作業を進められたらよろしいかと思ひます。

(註) 文中(No)は、[復習ノート]の No です。

1. ホームページ作成で心がける事項。

なるべく[軽い]ページを作るように心がける。最近、flash や高画質を使った web が増えていますが、訪問される方の事を考えると軽く作る事が必要です。特にトップページには特別の配慮が必要です。6-7 秒程度でファイルが表示されるようにしましょう。

アクセスされた方がトップページを見ただけで希望のページにジャンプ出来るようなリンクの設定を考えましょう。リンク・ナビゲーターの設定は、訪問される方が自由にページ間を往来出来るような心配りが大事です。

工事中のコンテンツは公開しないのが原則です。リンクすると[ただいま工事中]と表示しているのは訪問者に大変失礼です。リンクの設定を考えましょう。

BGM など MIDI の再生には留意が必要です。ファイルを開くと急に大音量が流れると訪問者は吃驚させられます。[ON][OFF]などの設定を考えましょう。

[著作権][肖像権]などに気をつけましょう。他人の画像などを使いたい場合は必ず承認を得ることが必要です。音源の著作権には特に気をつけましょう。ホームページ上でフリーの素材を使う場合も、使用条件を守ることが必要です。

[リンク]を貼るときも事前に了解を得るのがエチケットです。

2. ホームページ作成の手順。

新規編集(標準モード)を開く ページのプロパティ(画面を右クリック)を開く ページタイトルの記入 背景色の設定 レイアウトの作成(レイアウトテーブル) ページの作成(画像・テキストの挿入など) リンクの設定 サイトの作成 ファイルの最終チェック 転送設定 ファイルの転送 転送後の確認。

第9期生以降の勉強会では最初に[サイトの作成]を行うように進めていますが、更新を始める前に[サイトの確認][専用フォルダの作成][初期設定]などを行ってください。皆さんの初期設定は既に終わっていますので新規に行う必要はありません。

初期設定では[ソース]の色を付けない設定になっている方は、ソースに色を付ける設定に変更されるのはご自由です。

次項以下で個別のチェックポイントを記述します。詳しくは、毎回お送りするテキストを参照してください。

1. ページ作成の基本。

ページのサイズは、最大値 750 ピクセル(幅)、900 ピクセル(高さ)とし、この数値以内でコンテンツによってサイズをお決めください。[標準モード]で作成します。

タイトルは、ホームページの内容を訪問者に知らせる大切な要素です。タイトルは各ページ毎に必ず書くように習慣づけましょう。

背景色はなるべく薄い色を使うことが原則です。背景色の上に表示される[画像][テキスト]などの関連なども考えながら設定してください。(No8)背景に[画像]を使う場合は、透明度を調整して使用しましょう(ウェブアートデザイナーで調整出来ます。使用する文字も、[サイズ][書体]など、作成するページのイメージにあつたものを選ぶ様にしましょう。使用する書体は、パソコンに搭載されているものを使いましょう。これらの操作は、メニューバーの[書式] [フォント]から行います。又、スタイルシートを使つてよりきめ細かな設定が可能となります。(No5)

[文字化け]の原因になるので、(丸付き数字) (ローマ数字) など機種依存文字の使用は避けるようにしましょう。

通常[横書き]ですが、コンテンツによっては[縦書き]が効果を高める事があります。メニューバーの[挿入] [縦書き文字]を選択して作成してください。(No6)編集画面はなるべく広く使う様にします。画面には[ルーラー][グリッド]常時表示にしておいてください。

2. ページのレイアウト。

[表]を使ってレイアウトを設計します。予めページの全体像をデッサンし、表(レイアウトテーブルと呼びます)の数(行・列)、サイズ(幅・高さ)を決めて作業に取りかかりましょう。

表作成のアイコンから[列][行]が決まったら、[属性ビュー]を使ってテーブルの[位置][サイズ][枠]などを設定します。編集画面の右サイドに表示されます(V11)。

レイアウトテーブルは原則として編集後非表示にすることを忘れないでください。表の枠を非表示にする場合[枠の表示]の他に[罫線の幅]にも[0]を記入してください。

(No9)

3. 画像の挿入・編集・活用。

使用する画像は予めサイズを決めて[専用フォルダ]に保存しておいてください。画像名は[英数半角]がきまりです。その他の書式では転送出来ません。

画像はコピーしたものを使い、原画はそのまま保存しておいてください。

画像の容量が大きい場合は[画像の圧縮]をしてください。専用ソフト以外[ウェブアートデザイナー]でも可能です。圧縮の場合は[劣化率]を考える事が必要です。

画像の挿入は、ツールバーのアイコン(画像ファイルの挿入)を使って操作してください。画像を挿入(文字の記入)すると、赤い線で囲まれた枠が表示されます。これは[フォーカス枠]と言って編集可能な領域を示したものです。エラーではありません。

画像を挿入後、[属性画面]で[回り込み][余白][代替テキスト]を書き込む習慣をつけましょう。[枠]を付ける場合は、[枠表示]にチェックを付けピクセル数を設定してください。

同じページに複数の画像を挿入した場合、サイズを揃えたにもかかわらず、大きさが違う場合は、[HTML ソース]から[タグ]を比較して数字を修正すると簡単です。

[アルバム][サムネイル][スライドショー][ロールオーバー効果]は、メニューバーの[挿入]から[画像の効果]を選択して操作してください。

[アルバム]作成には、配置する位置について3つのパターンの中から選択してください。

(No14)

[サムネイル]作成に当たっては、[横長][縦長]の画像が混同すると見栄えがしませんが、なるべく統一するようにしましょう。サムネイルには、地名、画像名を表示して訪問された方にも判るようにしましょう。(No15) [スライドショー]では、画像が静止する位置を、タイトルロゴなどとマッチするようにしましょう。ルーラーで位置を調整してください。(No16) 挿入した画像を[フレーム]で装飾するには、右クリックで[フォートフレーム装飾]を選択してください。装飾には[テンプレート][イラスト][ウェブアート]がありますが、きめ細かな設定が可能な[ウェブアート]をお勧めします。(挿入した画像枠の色を、背景色、画像などと調和のとれた色に設定するには[スタイルの設定]を使います。右クリックから[スタイルの設定] [レイアウト] [ボーダー]を使って行います。

挿入した画像を編集[切り抜き][回転][効果]するには、アイコン(画像の編集)をお使いください。右クリックして[画像の編集]を選択しても可です。(No13)

ページの装飾(動く文字列・画像)。

文字列を動かすには[マーキー]を使います。メニューバーの[挿入] [その他] [マーキー]を選択します。(No7) [ロールオーバー効果]は2枚の画像を使って画像に変化をもたらす手法です。メニューバーの[挿入] [画像の効果] [ロールオーバー効果]を選択してください。(No17)

動きのある手法の一つが[ダイナミック HTML]です。これを利用するには、[レイアウト枠]と[エフェクト]を使います。(No19)

リンクの設定

[リンク]には、[同じサイトでページ間のジャンプ][特定の箇所へのジャンプ][他のサイトへのジャンプ]など大別して3種類に分かれます。

[リンク]を設定するには、リンク元の文字・画像を右クリックして[リンクの挿入]を選択し[属性]画面から操作してください。ページ間のリンクは[ファイルへ] [参照]、特

定箇所のリンクには別途の操作が必要です。他のサイトへのリンクには[URL へ]を使います。(No29)

リンクが正常に操作されると、リンク元の文字の下に線が表示されます。この下線を非表示にしたい場合は、スタイルシートを使います。[スタイルシートマネジャー]のアイコンをクリックし、[スタイルの設定画面]から操作します。(No31)又、リンク文字にカーソルを当てると短い説明文を表示することも出来ます。(No32)

リンクエラーの修正には、[URL エディタ]を使うと便利です。メニューバーの[ツール]から[URL エディタ]を選択します。編集中の画像なども一覧で表示されますのでここで修正を行ってください。(No30)

Web サイトの作成と最終チェック。

複数の Web ページを一つのサイトで管理すると色々と便利です。ページの作成が終わった段階で[サイト]を作成しましょう。サイトが出来ると、ファイルがツリー状に表示される[ビジュアルサイトビュー]が画面に表示されます。(No28)

ページの作成が終わった段階でファイルの最終チェックを行います。[サイト]全体をチェックするには[まるごとチェック]を行います。メニューバーの[サイト]から[まるごとチェック]を選択してください。エラーの箇所は、メニューバーの[ツール]から行います。ここには[スペルチェック][半角カナ変換][アクセシビリティチェック]などがあります。(No33)

[アクセシビリティチェック]では最初に[設定]を行いそのあとで[チェック]を行います。[設定]では、[標準]にチェックを付けるだけで OK ですが、[代替テキストの有無]で[画像]でのチェックを確認してください(チェックをつける)。

最後は[容量]チェックです。[ページの容量]と[サイト全体の容量]を確認しましょう。

4. ファイルの転送

ホームページをアップして公開するためには、ファイルを転送しなければなりません。そのためには[転送設定]が必要です。各プロバイダにホームページ開設を申し込み所定の手続きが必要です。[FTP アカウント][FTP パスワード][URL]などを取得してください。

[転送設定]には、メニューバーの[サイト]から[転送設定の新規作成]を選択するか、又は[FTP 転送画面]の[設定]をクリックして表示された画面のいずれかから行います。

ファイルの転送は[ファイルの転送]画面から行います。(メニューバーのツールからFTP ツールの起動)。転送設定画面の[接続]をクリックすると、中央の3ヶ所のボタンが緑色に発光します。発光すれば転送可能な状態です。

ファイル転送の場合、プロバイダによっては[転送フォルダ]が指定されているケースがありますので、該当する方はこの点をお気を付けてください。

[アップロード]と[ダウンロード]の操作方法、サーバー上に[新規フォルダ]を作成する方法などを確認してください。

ファイル転送時の確認事項としては、 画像名には[全角][スペース][日本語]は使えません。 [大文字][小文字]を正確に記載する。 拡張子を忘れない。

トップページは、 [index.html]として転送してください。

何らかの関係で転送出来ない場合は[パッシブモード]で転送します。 (No34)

転送エラーへの対応。

転送時にエラーのため転送出来ない時は、転送画面の[設定]をクリックして表示された画面で 諸事項を確認、修正して再転送してください。 (No35)

転送後のエラー処理には、 [ビジュアルサイトビュー]の[フォルダ]から、 [名前の変更]などを行います。 (No36)

バックアップの作成。

[サイト]のバックアップの作成。 (No2) [転送済みファイル]を自分のパソコンに戻す操作。ファイルの複製。 (No3)

原ファイルと複製したファイルを並べて編集すると作業効率が上がります。

文責 今井